市民と市長のタウンミーティング要旨

日 時：令和6年4月29日（月・祝） 15時30分～17時00分
場 所：シリウス生涯学習センター610大会議室
テ ー マ：新総合計画及び市政全般
参加人数：11人

○参加者からの意見等

【意見】

- ・ 障がい者歯科診療所について、大和市内に設置して欲しい。大和市内には約100の診療所があるが、実際は治療していただけることは少なく、三次医療機関を紹介されている。
- ・ 知り合いの車いすのかたも歯科診療を断られたケースがあるので考えて欲しい。歯周病は認知症のリスクにもなるので、障がいのあるかたが、歯科に行くことのできる機会を増やすことができるよう手を打つべきである。

【市長】

- ・ 私も病気になってから治療するというだけでなく、予防する医療は大事であると考えている。
- ・ 障がい者歯科診療所の二次医療機関は、県央の市町と地域の歯科医師会等の相互協力により実施している。厚木市の診療所まで遠いことや慣れない環境で治療する困難さなども伺っている。皆さんのご意見も参考にしながら、市ができることを検討していく。

【意見】

- ・ 障がいのある子どもの問題として、18歳問題というものがある。高校までは支援学校と放課後デイサービスと合わせて5時までは居場所があるが、高校を卒業すると居場所がなくなる。大学のような位置づけの場所、高校卒業後に障害がある子どもが通える場所をつくって欲しい。

【市長】

- ・ 障がいのある子の居場所づくりは、国や県に働きかけるとともに、市として何ができるかを考えていきたい。また、こういった声を今後もお聴きする場を設けてどのようなことが必要か整理していきたい。

【意見】

- ・ 新総合計画の人口推計は微増していくということだが、市の方針として増やしたいのか、どうなのかを明確にしたほうがよいと考える。
- ・ 市民の意見を聴くということであるが、何でも聞いてしまって全部入れ込もうとすると、やり切れずに破綻してしまうので、取捨選択することが必要と考える。
- ・ 企業誘致にもっと力をいれてほしい。

- ・新しい技術の導入ということも全然足りていないと思うので、大和市はもっと先進自治体を見習い、外部の人が市のデータを入手しやすい環境とするなど、DXの活用にも取り組んでほしい。
- ・新総合計画の説明の最後に新しい技術の導入をしていくとあった。私はエンジニアをしているので、大和市のオープンデータは全然足りないと感じている。情報を増やすとともに取得しやすくしてほしい。横浜市のオープンデータが充実しているので参考にして欲しい。

【市長】

- ・人口は増やしていきたいと考えている。
- ・大和市は工業地帯が少なく準工業地域もそれほどないので、広大な敷地を必要とするような企業を誘致するのは難しい状況であるが、大和市企業活動推進条例に基づいて新規立地企業に対して奨励金や固定資産税の優遇措置などに取り組んでいる。
- ・奨励金が活用された事例としては、成城石井の第3セントラルキッチンやサイゼリヤの工場などがあり、先日、お会いした人工衛星をつくる宇宙関連企業が大和市を選んだ理由として、交通利便性や人口の多さから従業員を集めやすいことを挙げられているので、人の集まる神奈川県の中にあるという点も大和市の売りにして、企業誘致を行っていきたい。
- ・また大企業だけでなく、先端技術や次世代の技術を持った中小企業についても誘致していきたい。
- ・オープンデータに関するご提案について、関係課と情報を共有し参考とさせていただきます。

【意見】

- ・PTA活動を始めてから他の小学校の話聞く機会が増えた。
- ・現場の先生の数足りていない、人口がすごく増えている中で小学校が足りない、学区によっては片道50分かけて小学1年生が登下校している、などの話を聞く。
- ・新しい学校を造るなど、今後の対応や考え方を聴かせて欲しい。

【市長】

- ・市内北部地域は子どもが多く、教室が足りない学校への対応は実施していく。
- ・将来的に子どもが減っていく推計がある中では、新しい学校をつくるのは難しい状況である。
- ・今現在、一番の課題は先生が不足していることと認識している。
- ・先生方が働きやすい環境をつくり、先生方の負担を減らすことが、課題の解決の糸口になると考えている。
- ・例えば、学校のプールはランニングコスト、先生方の負担、児童の安全面など課題が多いため、温水プールに集約することとし、プールを解体して校庭を広く使うなど活用することも、働きやすい環境整備につながると考える。
- ・先生方が働きやすい環境を整備することにより、子どもたちが有意義な学校

生活を送れるようにしていきたい。

【意見】

- ・ 15年前まで中学校で教員をしていた。
- ・ 私の経験からも教員の業務量は膨大で、新採用で意欲に満ちた若い人に多くの業務がのしかかったり、部活動の顧問で土日も無く働いたり、こういう状態が続くと精神的に参ってしまう。
- ・ 文科省によると、昨年度の療休者約1万人のうち8割は心的な理由である。
- ・ 先生方の働く環境改善、負担軽減をぜひ推進して欲しい。

【市長】

- ・ 教育は市政運営の大切な柱の一つと考えている。
- ・ 子どもたちには困難を乗り越えられる力を培って欲しい。
- ・ 先生方の負担が大きい状況は改善したい。
- ・ 学校や先生が対応に苦慮している状況も増えているので、法的な観点から助言を受けられるスクールロイヤーの配置や、部活動指導を補助する外部指導者に加えて休日に顧問の先生に代わって大会の引率等も可能とする部活動指導員を配置するなど負担軽減を図っていく。
- ・ 部活動については、勝つためだけではなく、生活指導を含めた教育の面も重要なので、部活をクラブチームにすればよいとは考えていない。

【意見】

- ・ 以前、中学校の教員をしていた。先ほどからお話が出ているとおり、先生の業務量は膨大である。
- ・ 先日、町田市が先生の事務作業を支援するスクール・サポート・スタッフを募集していることを知った。この取組は、町田市以外でも行われているので、大和市でも導入してみてはどうか。
- ・ 健康のためウォーキングをするようになって、公園に健康遊具があることを知った。ウォーキングをはじめていなかったら知らないままだった。
- ・ タウンミーティングに参加するにあたり、広報や市公式ウェブサイトを見てみると、大和市は素晴らしい取組をされていることが分かったが、市民に届いている情報は少ない。
- ・ もっと市の素晴らしい事業等を発信する、情報が市民に届く発信方法を工夫した方がよいと思う。
- ・ Xのフォロワーは約8500、今朝のXの投稿は「いいね」が約20で、これではもったいない。
- ・ 今はInstagramで情報を得る人が多いので、活用してみてはどうか。
- ・ 活用にあたっては、ハッシュタグを多くするとよいと思う。
- ・ 紙ベースも必要かと思うが、若い世代には15秒から30秒くらいの動画で発信するのもよいと思う。

【市長】

- ・先生の不足は負担の大きさも原因のひとつと考えており、先ほどお伝えしたような取組を進めるとともに、教育委員会とも課題解決に向けた話し合いを続けていく。
- ・SNSについては、発信力を高めるよう見直して、「いいね」と言われる街、注目を集めるような街にしていきたい。

【意見】

- ・SNSの話題が出たので、Facebookの「神奈川大和だいすき隊」は情報量も多く、市の職員も参考にして欲しい。

【市長】

- ・参考とさせていただきます。

【意見】

- ・市長をはじめ市役所の皆さん、市内で活動する団体の皆さん、そして市民の皆さんも、それぞれ市を良くしたいという気持ちが言語化されていないと感じている。
- ・こうした場（タウンミーティング）を設けてもらえると、それぞれの思いを伝えることができるし、市の思いも聴くことができるので、ぜひタウンミーティングを定例化して欲しい。

【市長】

- ・タウンミーティングは、市民の皆さんの声を直接聴くことができる貴重な場であり、今後も実施していきたい。

【意見】

- ・母が脳梗塞を患いリハビリが必要となったのだが、大和市内では受け入れ先が見つからず、他市のリハビリ施設でお世話になったので、大和市内のリハビリ施設を充実して欲しい。
- ・厚木基地に関して、戦闘機の騒音はずいぶん減ったが、哨戒機はまだ飛んでいるので、引き続き、安全を徹底して欲しい。
- ・小田急線駅にホームドアを設置するよう働きかけて欲しい。

【市長】

- ・厚木基地は、ヘリコプターも飛んでおり、引き続き、安全を徹底するよう要請していく。
- ・小田急電鉄にホームドアの設置を呼びかけていきたい。

【意見】

- ・中学生の通学リュックが非常に重く7～8kgあり、成長期の体幹に影響がある。置き勉を認めてもらうよう働きかけて対応してもらったが、勉強のために持ち帰ることもある。

- ・ 夏場の水筒やタブレットPCもあるので、荷物と重量が増える。
- ・ 教科書を2冊ずつ配布するなど、何か対策をお願いしたいが、なかなか理解されない状況である。

【市長】

- ・ 中学生は部活もあるので、荷物がもっと多くなることは承知しているが、どれも必要なものばかりなので、なかなか対応が難しい問題である。
- ・ ご意見を記録して、所管課とも共有し参考とさせていただく。

【意見】

- ・ 車いすを使っており、歩道が狭いところも多く、また、自転車のマナーが悪いため怖い思いをすることがある。
- ・ オークシティ～市役所の東側の自転車と歩行者を分けた歩道はとても安心して利用できるの、他の道路にも設置して欲しい。
- ・ 246号線バイパスの深見西交差点の歩道橋にはエレベーターが無いので、車道を利用しているが、横断中に信号が赤に変わってしまうことがある。
- ・ ここ（シリウス）のような公共施設は整っているの、今後は道路の整備を進めて欲しい。

【市長】

- ・ これまで道路整備計画がなかったので、計画の策定を進めており、歩行者の安全に配慮していく。
- ・ また、歩行者の安全確保や緊急車両の通行をしやすくする、セットバックや隅切りに協力していただける場合に、市が用地を取得することについても、取り組んでいく。